

つちうら ふれあいネットワーク 社協だより

No.155



誰もが安心して暮らせる
福祉のまちづくり

「社協」は社会福祉協議会の略称です。

2017.6.15



かすみがうらマラソン2017 兼 国際盲人マラソン

去る4月16日(日)、大勢の参加者のもと、盛大に開催されました。前日の準備を含め、総勢541名のボランティアが大会の運営にご協力くださり、大いに盛り上げてくれました。



ボランティアとしてご協力いただいた企業・サークル ※順不同

- ・(株)筑波銀行
- ・(株)日立製作所土浦事業所
- ・(株)SHカッププロダクツ
- ・日立建機(株)
- ・(株)常陽銀行
- ・セブン&アイ労働組合連合会
- ・中川ヒューム管工業(株)
- ・(株)長寿館
- ・日本郵便(株)土浦郵便局
- ・(株)かんぼ生命保険土浦支店
- ・日本マクドナルド(株)
- ・JFE商事(株)
- ・ひまわりの会

おもな内容

- 平成28年度土浦市社会福祉協議会事業報告・資金収支決算
- 平成29年度土浦市社会福祉協議会会費について
- 社協の歴史 Vol.2
- 各種事業参加者募集
- こどもフェスティバル開催お知らせ
- 地区懇談会開催お知らせ
- 社協事業紹介
- 各種報告
- 障害児(者)育成会会員募集
- まごころコーナー
- 嘱託職員募集

この広報紙は、市民の皆様から寄せられた社協会費と赤い羽根共同募金の配分金により発行しております。

平成28年度事業報告

地域福祉活動の推進と充実のために各種事業を展開してまいりました。
 主な事業を次のとおり報告いたします。

地域福祉グループ

◆福祉施設等の管理運営

社会福祉センター、老人福祉センター「湖畔荘」・「うらら」2施設と、新治総合福祉センターの管理運営をしました。

◆生きがい健康づくり

芸能発表会、高齢者スポーツ大会、各種趣味クラブ活動など、多様な事業を展開し、高齢者の方々の生きがいづくりと健康の増進を図りました。

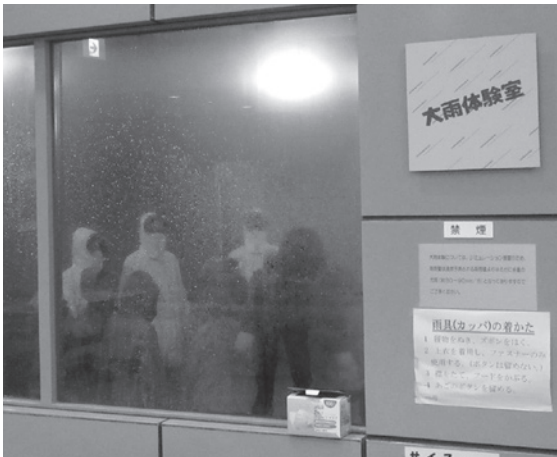


◆ふれあい電話訪問サービス

市内在住の70歳以上のひとり暮らしの方で希望される方を対象に、月に2回ボランティアが電話をかけ、安否の確認と孤独感や不安感の解消を図りました。

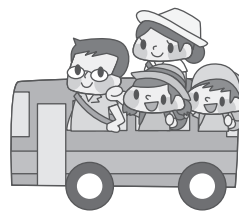
◆福祉ふれあい体験

福祉への興味・関心を高めるため、市内在住の小学生(3~6年生)を対象に、東日本盲導犬協会や栃木防災館の見学・体験を行いました。今年も参加者を募集しています。詳細は5ページをご覧ください。



◆障害児(者)交流キャンプ

障害のある方に多くの仲間たちと夏の2日間を楽しく過ごしてもらおうと共に、家族の相互交流を目的に、群馬方面へ行きました。2日目はあいにくの悪天候となりましたが、楽しく充実した時間を過ごしました。今年も参加者を募集しています。詳細は5ページをご覧ください。



◆ひとり親家庭親子ふれあいの集い

土浦市母子寡婦福祉連絡協議会との共催で、ひとり親家庭相互の交流・親睦と親子のふれあいを深めるため、鉄道博物館へ行きました。今年も参加者を募集しています。詳細は5ページをご覧ください。

◆青少年ワークショップ

福祉に対する理解を深め、思いやりの心をもった豊かな人間性の育成を目的として、市内在住・在学の高校生・大学生・専門学生を対象に、福祉施設等での体験活動を行いました。今年も参加者を募集しています。詳細は5ページをご覧ください。

◆おもちゃライブラリー

障害のあるお子さんとその保護者

同士のふれあいの場として、おもちゃライブラリー事業を実施しました。ボランティア手作りのおもちゃを通して、子どもたちの発達を促進するとともに、子育ての情報交換の場となりました。

◆ボランティアセンター

ボランティア活動推進のため、ボランティアに関する様々な相談や調整を行いました。

点字点訳・音訳・傾聴・手話・要約筆記・ガイドボランティアなど、各種ボランティアの養成講座を開催しました。



◆友愛サービス

市民同士の助け合いによる有償型ボランティアサービスとして、食事の支度・洗濯・掃除・買い物などの家事援助のサービスを提供しました。

◆ファミリー・サポート・センター

市民同士の助け合いによる有償型ボランティアサービスとして、保育施設への送迎や学童保育終了後の預かり、産前産後の家事援助などのサービスを提供しました。

◆社会福祉協議会支部

中学校区ごとに設置されている社協支部では、身近な相談窓口として各種相談に応じながら、地域の皆さんと連携して地区の要支援者に対する地域福祉活動を展開しました。

◆障害者自立支援センター

介護を必要とする障害のある方の日中活動の場として、入浴・排せつ・食事等の介護、生活等に関する相談・助言その他の必要な日常生活上の支援、創作的活動のほか、身体機能や生活能力の向上のために必要な援助を行いました。

◆福祉の店ポプラ

市内外の福祉施設等で障害者の方々が手作りした作品等の、常設店での販売や、イベントへの出張販売を実施いたしました。

◆訪問介護事業

支援を必要とする方々に、介護保険法や障害者総合支援法に基づき、家事援助・身体介護等を行い、その人らしい日常生活や社会生活を送ることができるようサービス提供しました。

ふくしの相談グループ

◆基幹相談支援センター

障害のある方やご家族からの生活全般の相談に応じて、福祉制度の情報提供や、福祉サービス利用に関する総合的・専門的な支援を行いました。

◆障害者虐待防止センター

障害者への虐待の早期発見と虐待を未然に防ぐため、虐待に関する通報や相談を、専用回線で24時間365日受け付け、関係機関と連携して支援を行いました。



◆地域包括支援センターつちうら

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、介護予防のための事業やケアマネジメントを実施するとともに、高齢者に関するさまざまな相談に応じました。

◆ふれあいネットワーク

要支援者を地域で支え合うため、民生委員児童委員・医師・薬剤師・障害者相談支援事業所・訪問看護ステーション・ボランティアなどの関

係機関と連携し、地域ケア体制の拡充を図りました。

◆生活困窮者自立支援事業

生活困窮者からの相談に応じて、それぞれの自立につながるよう、就労支援その他必要な情報の提供及び助言を行いました。また、生活困窮世帯の小学4～6年生を対象に、子どもの学習支援教室を開設し、ボランティアによる学習指導を行いました。

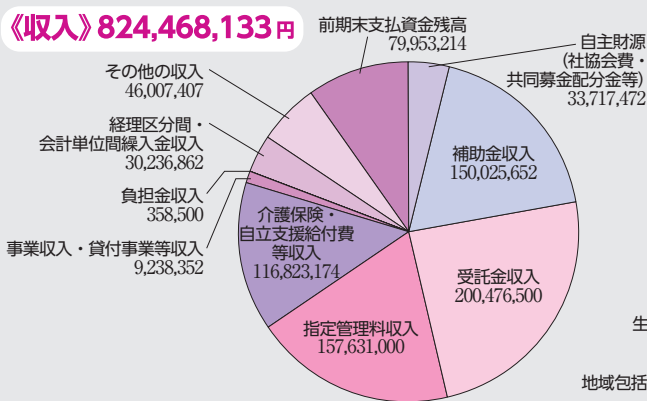
◆成年後見センターつちうら

成年後見制度に関する相談に応じ、申立て手続き支援等を行いました。また、人材育成や成年後見制度の基礎知識や必要性の周知のため、市民後見人フォーアアップ研修や市民後見人講演会を開催しました。

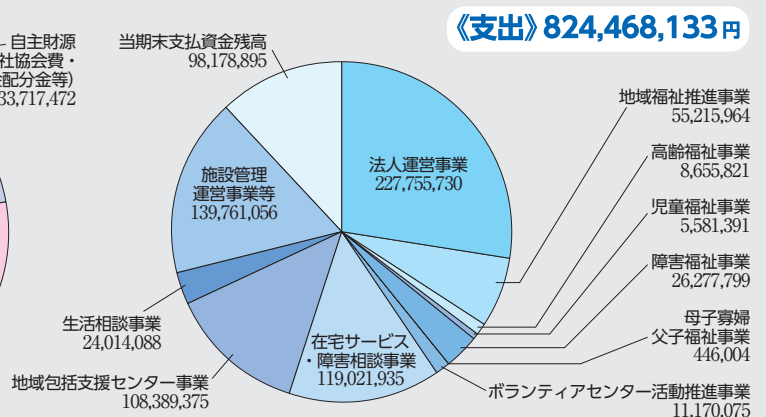


平成 28 年度 社会福祉協議会資金収支決算

《収入》824,468,133円



《支出》824,468,133円



平成29年度 社協会費納入にご協力をお願いします。

「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」を実現するため、土浦市社会福祉協議会（略称：社協）は日々活動しています。皆さまからお預かりした会費は、社協が実施する地域福祉事業の大切な財源となっています。ぜひ、ご協力をお願いいたします。

高齢者の方々への支援

ひとり暮らし高齢者や高齢世帯等へのふれあい電話訪問サービス事業や、高齢者の生きがい健康づくり事業等に

障害のあるの方々への支援

障害のあるお子さんに適したおもちゃの貸出や製作をおこなう「おもちゃライブラリー事業」や各団体への助成等に

子育て家庭や子どもへの支援

ひとり親家庭の親子の絆を深めることを目的とした「親子ふれあいの集い」、車いす体験や高齢者疑似体験等の「児童福祉体験講座」等に

地域福祉活動の推進

社協支部（市内各中学校区ごとの公民館に設置）による福祉活動の展開等に

ボランティアの育成と支援

点字点訳、音訳、傾聴等のボランティア養成講座開催、各種ボランティアの相談、調整、派遣等に

市社協事業の推進

地域福祉活動計画策定、法人運営に要する諸経費等に

「社協会費」は、社会福祉協議会活動の充実を図り、その結果、地域住民の福祉向上につなげる趣旨のものであり、募金や寄附金と同様、任意に基づくものです。



会費（1世帯1口 500円）は、自治会・町内会を通じてお願いしております。

平成28年度皆さまからお寄せいただいた会費は、13,813,000円でした。

ご協力ありがとうございました。

土浦市社会福祉協議会の今昔 vol.2

～社協法人化～

前号で記載されたとおり、社協は戦後まもない昭和27年3月に任意団体として発足し、市民生活に密着した法外援護や心配ごと相談などの身近な活動を続けておりましたが、社会福祉関係法の順次整備にともない、昭和42年2月に県内3番目に法人化を図り、2月6日に社会福祉法人土浦市社会福祉協議会定款制定設立認可。8日に設立登記完了。理事13名、監事2名、会長には天谷丑之助氏が就任し、事務所は旧市役所の一部に設置されました。

同年、4月1日には、事務局長に来栖綱氏他2名の職員が配置され、事務局諸規定を制定。8月に全戸会員制による会費納入の促進を図り、10月1日に2代目会長細田武氏が就任し、同月15日「つちうらの社会福祉第1号（現社協だより）」を発行しました。



つちうらの社会福祉第1号

申込み・問合せ先

福祉のまちづくり係 ☎ 821-5995

福祉ふれあい体験【日帰り】



とき 第1回：8月3日（木）
第2回：8月9日（水）

見学・体験先 東日本盲導犬協会（栃木県宇都宮市）

内容 盲導犬センターの見学・盲導犬についての勉強

対象者 市内に居住する小学3年生～6年生
※児童1名に対し保護者1名の同伴可

定員 各回 20組 40名（申込み多数の場合は抽選）

参加費 1,000円（昼食代実費負担分/1名につき）
当日集めます

申込方法 往復はがきに児童の氏名（ふりがな）・性別・生年月日・住所・電話番号・学校名・学年・保護者の氏名・緊急連絡先・保護者の同伴の有無を記入の上、お申込みください
※はがき1枚につき申込みは1名のみ

申込締切 7月14日（金）【必着】

障害児（者）交流キャンプ 参加者募集

とき 8月20日（日）～21日（月）【1泊2日】

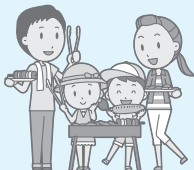
ところ 千葉県南房総方面
※行き先は都合により変更となる場合があります。

対象者 障害児（者）とその保護者

定員 120名（先着順）

参加費 障害児（者） 3,000円
保護者 15,000円

申込方法 7月7日（金）までに参加費を添えて、
社会福祉協議会へ直接お申込みください



青少年ワークショップ （青少年福祉体験）参加者募集

青少年ワークショップに参加し、福祉活動を通して、誰もがもっている思いやりの気持ちを自然に行動に移してみませんか！

日程 事前研修 8月8日（火）
ワークショップ
8月16日（水）～18日（金）

活動内容 次の4コースから第1希望・第2希望をお選びください。

- A：保育所での活動体験
- B：障害児通所施設での活動体験
- C：高齢者通所施設での活動体験
- D：障害者通所施設での活動体験



対象者 市内在住、在学の高校生・大学生・専門学校生

定員 40名（申込み多数の場合は抽選）

参加費 無料（昼食実費負担あり）

申込方法 7月18日（火）までに電話でお申込みください
申込みの際、住所・氏名・年齢・電話番号（携帯）・学校名（学年）・希望コース（第2希望まで）をお知らせください。

ひとり親家庭 「親子ふれあいの集い」日帰りバス旅行

とき 7月8日（土）
9：00～17：00ごろ

ところ 東京スカイツリー（東京都墨田区）

対象者 市内に居住するひとり親家庭の親子
（中学生まで）

定員 20組（申込み多数の場合は抽選）

参加費 【土浦市母子寡婦会員】
大人 500円 中学生以下 300円
【一般】
大人 1,000円 中学生以下 500円
※3歳児未満無料

申込方法 6月27日（火）までにお電話でお申込みください



新治総合福祉センターからのお知らせ

「こどもフェスティバル」を開催します！

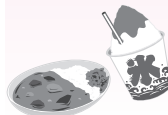
おじいちゃん・おばあちゃん達と一緒に遊びに来てね!!!

日時 7月15日（土）10：00～13：00

場所 新治総合福祉センター内

内容 模擬店：カレーライス（一皿200円）、
かき氷・フランクフルト（各100円）

ゲーム：ゴールできるかな？段ボール迷路、折り紙の魚釣り
体験：パーラービーズで作ってみよう!!



問合せ先

新治総合福祉センター
土浦市沢辺1423-1
☎862-3522



あなたの意見で、誰もが安心してらせる福祉のまち土浦へ

福祉のまちづくり地区懇談会

「土浦市の福祉のまちづくり」や「地域福祉の充実・発展」について、皆さんの意見や考えを地域福祉活動計画に反映させたいと考えています。ぜひ、地区懇談会へご参加ください。

対 象：市内に居住または通勤通学している方

開催地区	会場	開催日	時間
一中地区	一中地区公民館	8月2日(水)	19時～21時
二中地区	二中地区公民館	7月20日(木)	19時～21時
三中地区	三中地区公民館	8月1日(火)	19時～21時
四中地区	四中地区公民館	7月25日(火)	19時～21時
五中地区	上大津公民館	7月21日(金)	19時～21時
六中地区	六中地区公民館	7月27日(木)	19時～21時
都和中地区	都和公民館	7月26日(水)	19時～21時
新治中地区	新治地区公民館	7月28日(金)	19時～21時

※発言者は開催地区に居住する方で、1人につき一意見または一提言のみです。また、発言時間は3分以内とさせていただきます。
 ※事前申込みは不要です。直接各会場へお越しください。

【問合せ】総務係 ☎821-5995



障害相談係からのお知らせ

基幹相談支援センター

☎821-5995

障害者手帳の有無や障害の種別に関わらず、障害のある方やそのご家族等を対象に、福祉制度やサービスの情報提供、生活全般の総合的・専門的な相談支援を行っています。また、平成28年4月1日に施行された「障害者差別解消法」に関するご相談にも対応しています。ご相談は無料です。

※「障害者差別解消法」に関するご相談窓口は、基幹相談支援センターと、

土浦市役所障害福祉課 ☎826-1111 (内線2470) です。

障害者虐待防止センター

☎824-1650

障害者への虐待が疑われる場合の通報受付や、関係者からの相談、虐待防止に関する普及啓発活動等を行っています。

通報・相談は24時間365日受け付けています。(夜間・休日は市内の社会福祉法人で受け付けます。)

あなたの暮らしを守る
お手伝いをします!

日常生活自立支援事業



困りごと	サービス内容
福祉サービスを使いたいかわからない	福祉サービスの利用援助 情報提供・相談・各種手続きなど
計画的にお金を使いたいけれどいつも迷ってしまう	日常的金銭管理サービス 預貯金の出し入れ、各種支払など
預金通帳をちゃんとしまったかいつも心配	書類等預かりサービス 大切な通帳、印鑑、証書等の預かり

Q. どんな人が利用できますか? 認知症、知的障害、精神障害等により判断能力が不十分で、福祉サービスの利用手続きが不安な方が利用できます。

Q. 利用料金は? 福祉サービスを利用するためのお手伝い } 1時間あたり 1,100円
 くだん使うお金の出し入れや支払のお手伝い }
 大切な書類のお預かり 1か月あたり 500円

詳しくはお問合せください。生活相談係・成年後見センターつちうら ☎821-1152 (直通)

災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルの見直し報告

災害ボランティアセンター設置・運営マニュアル検討委員会において、マニュアルの見直しを行い、去る3月24日、椎名委員長から土浦市長に見直しされたマニュアルの報告を行いました。

入れ歯リサイクル運動にご協力いただきありがとうございました!

不要となっている入れ歯のリサイクルにより生じた益金は、NPO法人日本入れ歯リサイクル協会を通じて、日本ユニセフ協会及び当協議会の善意銀行へ寄付されます。

皆様にご寄付いただいた不要入れ歯は、金 15.37g、パラジウム 10.51g、銀 63.93g、プラチナ 0.18g に形を変え、40,429円が善意銀行へ寄付されました。今後ともご協力をよろしくお願いいたします。

歯にかぶせた金属、歯に詰めた金属、歯と歯をつないだ金属等が貴重な資源に生まれ変わります。
 ※ 金属のついていない入れ歯は回収できません。

◎入れ歯回収ボックス設置場所

- ・社会福祉協議会ロビー
- ・各地区公民館
- ・ふれあいセンターながみね
- ・老人福祉センター湖畔荘
- ・老人福祉センターうらら
- ・新治総合福祉センター
- ・市庁舎

育成会の会員を募集しています。(一口1,000円から)

趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

◆◆◆◆ 土浦市障害児(者)育成会 ◆◆◆◆

障害児(者)を取り巻く社会環境が大きく変化し、さまざまな福祉課題の取組が求められているところから、障害児(者)団体等の活動を支援するとともに、広く市民の皆さまの理解を深め、障害児(者)及びその家族の福祉の推進を図ることを目的として、民生委員児童委員が自発的に支援活動を行う会として設立されました。

障害福祉の推進のために福祉団体の活動支援や次のような事業を展開しています。

教育研究会特別支援研究部 市内小中学校合同の校外学習など、日頃、一堂に会し活動することが少ない児童・生徒が、共に活動して交流を深めるための事業	障害児(者)交流キャンプ 障害児(者)が多くの仲間と夏の2日間を楽しく過ごすとともに、親が子の問題や日常生活の悩みを話し合いながら、相互の理解を深めるための事業	障害児(者)を励ます新年の集い 新たな年の輝かしい門出に当たり、障害児(者)が社会の一員である自覚を持つとともに、その家族が一堂に会して交流を深めるための事業	各種団体の研修及びレクリエーション 障害児(者)団体相互の交流を図るための事業
---	--	---	---

【問合せ先】土浦市障害児(者)育成会事務局(福祉のまちづくり係内) ☎821-5995

善♥意♥銀♥行

まごころコーナー

平成29年3月11日～平成29年5月23日

(敬称略)

ご協力ありがとうございました。

金 銭

・土浦蕎麦同好会	21,685円	・松寿会 鈴木雅美	76,955円
・NPO法人 日本入れ歯リサイクル協会	40,429円	・土浦市生涯学習館同好連合会	242,898円
・神立商工振興会	60,000円	・茨城かすみ農業協同組合	10,000円
・一中地区民生委員児童委員協議会	1,651円	・土浦協同病院看護師会	57,900円
・コーヒーハウスアモール 代表 滝 智一	15,360円		

物 品

・茨城県県南生涯学習センター	・株式会社横山印刷	・六中地区公民館
・都和中地区民生委員児童委員協議会	・さんぼみち	・塚田陶管株式会社
・土浦南ローターアクトクラブ「創立20周年記念事業」	・エキスパート株式会社	・土浦訪問看護ステーション



土浦市社会福祉協議会 嘱託職員募集

障害者自立支援センター

職種 / ①看護職員 ②介護職員
仕事 / 障害者の介助・健康管理・送迎など
資格 / ①正・准看護師、普通自動車免許
 ②ヘルパー2級(介護職員初任者研修)または介護福祉士、普通自動車免許
給与 / ①195,000円 ②154,000円 (交通費別途支給・規程による昇給あり)
勤務 / 8:30～17:15(休憩60分)
 日曜・祝日休み、有給、年末年始休暇あり



地域包括支援センターうらら

職種 / ①保健師
 ②主任介護支援専門員
仕事 / 高齢者の総合相談、地域包括支援センター業務
資格 / ①保健師、普通自動車免許
 ②主任介護支援専門員、普通自動車免許
給与 / ①195,000円 ②180,000円 (交通費別途支給・規程による昇給あり)
勤務 / 8:30～17:15(休憩60分)
 原則土日祝日休み、有給、年末年始休暇あり



基幹相談支援センター

職種 / 障害者(児)への相談支援担当者
仕事 / 障害者(児)や家族への情報提供、サービス利用計画書の作成など
資格 / 社会福祉主事、障害者施設で就労経験のある方
給与 / 180,000円 (交通費別途支給)
勤務 / 8:30～17:15(休憩60分)
 原則土日祝日休み、有給、年末年始休暇あり



申込み・問合せ先

☎821-5995 (担当/木村)



土浦市社会福祉協議会

〒300-0036 土浦市大和町9-2
 土浦市総合福祉会館内(ウララ2ビル4階)
 TEL 029-821-5995(代) FAX 029-824-4118
 E-mail info@doshakyo.or.jp
 http://www.doshakyo.or.jp

編集後記

今年も庭の梅の木が青々とした実をつけました。まもなく収穫。梅干しに梅酒、仕込みが忙しくなります。梅雨の季節の風物詩。香り高い梅酒に仕上がりますように…(Y.H)

